

## 平成 31 年度第 1 回木更津市史編集委員会 会議録

1. 会 議 名 平成 31 年度第 1 回木更津市史編集委員会
2. 開催日時 令和元年 7 月 19 日（金）午前 9 時 10 分～午前 10 時 10 分
3. 開催場所 木更津市役所駅前庁舎 会議室 1
4. 出席者 市史編集委員会委員 出席 6 名  
杉山林継委員、成田篤彦委員、石和田秀幸委員、實形裕介委員、  
堀切由彦委員、石井宏典委員  
教育委員会事務局 7 名  
高澤茂夫教育長、岩埜伸二教育部長、秋元淳教育部次長、稲木章宏文化課長、  
小高幸男主幹、齊藤良二副主幹、寺原進主任主事
5. 議題及び公開又は非公開の別  
議題 1 委員長、副委員長の選出について（公開）  
議題 2 木更津市史編さん事業におけるデジタルアーカイブ化及び公開事業の  
実施について（公開）  
報告 1 平成 30 年度市史編集委員会（公開）  
報告 2 木更津市史編集基本構想及び基本方針の改正について（公開）  
報告 3 その他研究機関との共同調査（公開）  
報告 4 平成 31 年度の実施予定事業（公開）  
報告 5 木更津市史編集部会（公開）
6. 傍聴人 なし  
事務局（稲木文化課長）

定刻になりましたので、ただいまから本年度第 1 回木更津市史編集委員会を開催いたします。これからの進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。本日の市史編集委員会は、池田委員、川戸委員、島立委員、谷畑委員の 4 名が欠席でございます。会議につきましては、附属機関設置条例第 6 条第 2 項の規定により、成立しております。また、会議は公開で行ないますのでご了承下さい。

はじめに、高澤教育長よりごあいさつ申し上げます。

高澤教育長 改めて、皆さんお早うございます。先ほどの委嘱状交付式のあと、第 1 回目の市史編集委員会にご出席いただきありがとうございます。先ほど、市長からお話がありましたように、任期は 2 年ということになっております。委員皆様全員が継続任期ということになりますが、ぜひ、忌憚のないご意見・ご指導をお願いします。おかげさまで、市史編さん事業も編集委員の皆様と、調査・研究にあたっ

ている編集部会の皆様のご助力により滞りなく進んでおります。重ねて感謝申し上げます。なお、来年度は「本編」の編集が開始します。今年は内容等について協議を深めていただくこととなりますので、その点でもご指導ください。このあと、委嘱後の第一回目市史編集委員会として委員長、副委員長の選出のほかに議案を用意しておりますので審議の程よろしく申し上げます。

事務局（稲木文化課長）

続きまして、就任された委員皆様より、1人ずつ自己紹介をお願いいたします。  
（各委員自己紹介）

事務局（稲木文化課長）

ありがとうございました。続きまして、事務局職員より自己紹介申し上げます。  
（事務局自己紹介）

事務局（稲木文化課長）

それでは、会議に入ります。会議に入る前に、資料確認をお願いいたします。  
（資料の確認）

事務局（稲木文化課長）

それでは、議事に入ります。議長は委員長が務めることとなっておりますが、これまでの市史編集委員会は、令和元年6月30日をもって任期が終了しております。従いまして、委員長、副委員長を改めてご選出していただく必要がございます。委員長、副委員長が選出されるまでの間、議事の進行を、岩埜教育部長が務めさせていただくことといたしたいのですが、よろしければ、挙手をお願いいたします。

（挙手確認）

事務局（稲木文化課長）

挙手全員ですので、岩埜教育部長に議事の進行をお願いいたします。

岩埜教育部長 教育部長の岩埜でございます。委員長、副委員長が決まるまでの間、暫定議長を務めさせていただきます。委員長ならびに副委員長の選出について、改めて事務局より説明願います。

事務局（小高主幹）

資料1ページに掲載しております附属機関設置条例第4条の規定により、委員長及び副委員長の選出は、委員の互選とされております。そこで、委員長1名、副委員長1名の選出をお願いするものでございます。

岩埜教育部長 事務局より、委員長1名、副委員長1名を選出願いたいとのことでございます。選出について委員の皆様のご意見はいかがでしょうか。

堀切委員 委員長、副委員長の選出にあたり事務局のほうで案があればお願いします。

岩埜教育部長 ただいま、堀切委員から「事務局の案は」というご意見がありました。事務局として提案はありますか。

事務局（稲木文化課長）

事務局といたしましては、これまでの市史編集委員会におきまして長きにわたりご尽力をたまわっております杉山林継委員に委員長を、同じく成田篤彦委員に副委員長をお願いしたいと存じます。

岩埜教育部長 事務局より、提案がございましたが、いかがでしょうか。異議がなければ挙手をお願いいたします。

（挙手確認）

岩埜教育部長 挙手の数は本日の出席者全員でございます。委員長を杉山林継委員、副委員長を成田篤彦委員をお願いしたいと存じます。委員の皆様には、ご承認の拍手をお願いいたします。

（拍手確認）

岩埜教育部長 委員長、副委員長選出の案件につきましては、決定いたしましたので、暫定議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

事務局（稲木文化課長）

それでは、委員長、副委員長が決定いたしましたので、代表して杉山委員長よりご挨拶をたまわりたいと存じます。

杉山委員長 年齢的に衰えてきておりますので、今回はお引き受けします。

事務局（稲木文化課長）

ありがとうございました。それでは、これからの議事進行を、杉山委員長にお願いいたします。

杉山委員長 議長の任をお引き受けしましたので、よろしく申し上げます。今日の議事ですが、議題 2 とあります「木更津市史編さん事業におけるデジタルアーカイブ化及び公開事業の実施について」ということで上程します。事務局の説明をお願いします。

事務局（小高主幹）

木更津市史編さん事業におけるデジタルアーカイブ化及び公開事業の実施について説明します。資料 2 ページをご覧ください。これは「木更津市史編集基本構想及び基本方針」の中に記載されております「4. 『新版』の内容、構成について」の中で、本編等に掲載した写真や図版を活用した Web 版『木更津市史』の作成について記しておりますが、これに則して来年度から議題の事業を実施したい

と考えております。資料の下段に「基本方針」の抜粋を掲載しておりますのでご参照ください。

実施する公開事業の概要は資料のとおりで、大きくは千葉県有形指定文化財「天正検地帳」の保存修理及びデジタル化公開と、木更津の歴史・民俗・自然から資料を選定して公開します。公開する資料は、これまで市史編集部会で調査した資料を掲載しますが、その他、動画や空撮を実施して掲載する予定です。公開事業は令和2・3年度に作業を行い、4年度から公開する予定です。

本来、Web版『木更津市史』は市史本編を発行してから作成すべきところですが、「天正検地帳」について千葉県教育委員会の保存状況調査を受けたところ、損傷が激しいため修理が必要であるとのこと。また、今後の公開についても修理の際に撮影した写真等の二次資料の活用をするよう報告を受けております。この「天正検地帳」についても市史に掲載したいので、このままでは市史編さんに係る調査に影響が生じるため、早急に対応することとしました。

なお、指定文化財の保存修理や、デジタルアーカイブ化及び公開については、千葉県の補助金や、公益財団法人が実施する助成活動事業の対象となり、こうした補助金等を活用することによって市史編さん事業に関する市の予算措置についても大きく軽減されることから、補助金等を申請しながら実施したいところです。また、市史編さん事業は長期のプランであり、デジタルアーカイブ化して公開することは、少しでも早く市史編さんの成果の公表にもつながることから、今回の公開事業は有効であると考えます。今後は、市史編集部会の中にデジタル作業部会を設けてWeb版『木更津市史』を作成してまいります。今回の事業はWeb版『木更津市史』作成にあたって非常に参考になるものと考えます。

なお、事業の経過状況については、今後の市史編集委員会の中でご報告いたします。また、「天正検地帳」は千葉県の指定文化財であることから、今月開催する木更津市文化財保護審議会においても報告する予定です。私からは以上です。

杉山委員長 説明が終わりましたが、委員の皆さんから質問はありますか。

實形委員 恐らく状態が悪いので、ちゃんと見てもらうためには修復していただかないと全文を確認できないので、修復をやっていただけると非常にありがたいと思います。天正20年というと、(徳川)家康がやって来て、この地域で検地をやって検地帳を作ったということで、木更津はここから近世が始まったということになりますので、貴重な史料だと思います。そして全文を解読して分析することが大事になってきます。

杉山委員長 他にありますか。

私も、かつては検地帳を全て指定するように言うておりましたので、その時判っているものは指定してもらい、後から出てきたものは追加指定すればいいと言うておりました。非常に大事なものだと思います。地域にとっては根本史料になると思います。よく見ると、史料の中で後世の移動があったんですね。

事務局（小高主幹）

今回、千葉県の調査報告を受けましたが、検地帳は 16 冊に分かれておりますが冊子の中で違うものが含まれていることが指摘されております。今回の修理とあわせて史料撮影と翻刻作業を行う予定です。別のものが含まれているとすれば今回の作業の中で判明するものと考えております。また、複本とされている江戸時代の検地帳と記載方法が違っているので、今回は複本の翻刻作業も実施するので、それと対比して本当に複本であるのかも判明するものと考えております。

杉山委員長　　今のことも踏まえて、ご意見はありますか。

私から一つ聞きたいのですが、市域内には、この他に検地帳はありますか。

事務局（小高主幹）

この時期の検地帳は今のところ見つかっておりません。昭和 2 年に刊行された『君津郡郡誌』には、このほかの検地帳について旧君津郡域内にあったと記されておりますが、刊行後、所在不明になっているようです。それについては、『君津郡郡誌』の編さんに携わっていた方の子孫がおりますので、何らかの情報が得られるかもしれないので、子孫の方と交渉しているところです。

杉山委員長　　それは、木更津市内ですか。

事務局（小高主幹）

君津市です。

杉山委員長　　わかりました。実際には、現物が残っていることは難しいと思いますので、情報（記録）だけでも残っていればありがたい。實形委員。検地帳というのは江戸時代に写しているものが多いのでしょうか。

實形委員　　写しというのは土地台帳ということで、実際には使わないけれども保険ということで持っていたのでしょ。悉皆調査していけばそういった写しがでてくる可能性はありますので、今後の調査に期待したいところです。天正検地帳は特徴的な記載方法なので、写しで年代がなくても記載の仕方で特定できると思います。今後は土地台帳が出てきたら注意したいと思います。

杉山委員長　　今回の保存修理については、文化財保護審議会にもかけるということ。それから市史編集委員会としては、市史編さんには重要な史料なので公表することにつ

いては結構なことだと思います。他のアーカイブ化について、意見はありますか。

私から質問ですが。たとえば民俗だと何年度の調査報告であるとか入れていくのですか。つまり、公表（アーカイブ化）した後、（行事等が）なくなったり、行われなくなったものというものも出てくるでしょうから、その点も気をつけていかれたほうがいいと思います。

事務局（小高主幹）

承知しました。調査年度の記載については、注意してまいります。

杉山委員長 わかりました。特に意見はないということで、この件について了承ということでよろしいでしょうか。

（出席委員了承）

杉山委員長 それでは、この事業について事務局は対応をお願いします。

事務局（稲木文化課長）

承知しました。

杉山委員長 議題は以上で終わりです。次に、その他報告事項に入ります。報告事項について、事務局から報告をお願いします。

事務局（小高主幹）

はじめに、昨年度の市史編集委員会開催結果について報告します。昨年度は2回開催し、議題内容等については資料のとおりです。これを踏まえて今年度に木更津市史編集基本構想及び基本方針を改正し、市のホームページに掲載します。次に、その他研究機関との共同調査ということで、平成29年度から木更津市立図書館所蔵の和本を中央大学、一橋大学、木更津市の三者で覚書を交わして共同調査を行っています。その成果を今年5月11日（土）に図書館で第128回「書物・出版と社会変容」研究会（千葉県木更津大会）として開催していただきました。内容は資料のとおりで、54名の研究者や一般の方々が参加しました。次に今年度の実施予定事業は資料のとおり予定し、このうち公開講座は、中世部会に協力いただいで行います。内容及び日程等が決まりましたらお知らせいたします。最後に市史編集部会の委員数は、7月1日時点で59名です。その他、ボランティアとして市史調査協力員は15名となっております。私からは以上です。

杉山委員長 ただいま、事務局から報告いただきました。このことについて、質問がありましたらお願いします。市史調査協力員の協力で巨木の調査をしていますが、巨木の基準を教えてください。また樹種などの特徴は。

成田副委員長 樹周り何メートルという大きさの基準があります。また木更津市はシイが多いようです。

杉山委員長 ありがとうございます。(図書館の) 和本は近代が中心ですか。それとも近世ですか。

事務局 (小高主幹)

およそ近世が多いようです。図書館の和本調査は江戸時代の貸本「大惣本」が図書館に所蔵されていたことがきっかけで、「大惣本」のほとんどは東京大学が所蔵していましたが、戦災で焼失してしまっています。それが、なぜ木更津にあるのかということ調べるため開始しております。江戸時代の木更津は、海を介して江戸との交流が頻繁であったため本の流通状況は他の地域と比べて特殊であると。より江戸に近い流通状況であったことが考えられております。

杉山委員長 ありがとうございます。近世の状況は、全国的に見ても特殊であるということでしょうか。木更津の図書館は、いつ開館しましたか。

事務局 (小高主幹)

昭和4年(事務局訂正)の木更津町立図書館として開館しております。

杉山委員長 ありがとうございます。他に質問はありますか。

實形委員 今年度の実施事業で、公開講座が年度末の3月開催ということですが、事務局としてどういった内容で考えていますか。

事務局 (小高主幹)

まだ、詳しいことは決まっておりませんが、中世部会では、主に真里谷武田氏や里見氏に関する調査を進めているので、戦国時代の木更津に関するものになるかと思えます。

實形委員 戦国の木更津という大きなテーマで行けば一般的に人気のある時代でもあり、武田氏や里見氏に関するということであれば、かなり盛り上がるのではないかなと思います。

杉山委員長 真里谷城跡の(発掘)調査を行っていて、なかなか大きな城で、千葉県の中でもあれだけ大きな城は余りみかけない。調査をすればもっと色々なものが見つかるだろうと思います。ただ、文献が少ない。真里谷武田氏を中心にしたら面白いと思います。里見氏も関係するし、後北条氏も関係するでしょう。

報告事項で他にありますか。意見・質問もないようなので、本日の議事は以上で終了とします。それでは、議長の職を解かせていただきます。本日は、ご協力ありがとうございました。

事務局 (稲木文化課長)

杉山委員長、議事進行ありがとうございました。以上を持ちまして、第1回木更津市史編集委員会を終了いたします。なお、次回の市史編集委員会は、11月以

降を予定しております。日程が決まり次第、お知らせいたします。本日はありがとうございました。

令和元年 月 日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 杉山 林継